

●台風 2 号の影響が発生

1. 中聖牛が流される

10 日に玉水浜を見回っていると写真の状態になっていました。中聖牛の取り組みを始めたのは 2017 年が最初で第 1 群 3 基でした。それ以後毎年 3 基ずつ 4 群を作り上げてきました。この間に何度も増水が見られましたが設置前後にはタマリができて前方に傾斜することや、中聖牛の前に流木が重なることはありましたが、今回のように中聖牛の姿が全く見られなくなるのは初めての出来事です。



2. 城陽市教育委員会主催の「魚とり」中止

6 月 2 日の大雨による木津川の増水は物凄いものでしたので、5 日に玉水浜で現地視察を実施すると水準より -1.8m とのスマホの値でした。実際現場での間隔ではこの水位と増水の状況に加えて水の濁り方だと 50 cm 程度水位が低下しないと魚とりは不可能だと判断しました。しかし、実行してやりたい気持ちが現地検者の思いだったので、9 日の正午に最後の判定をしようとの決定でした。

ところが台風 2 号の接近と梅雨前線の影響でかなり激しい雨が降りました。9 日のスマホで水位を調べてみますと -1.6m との表示になっています。2 日の記録と比較すると 20cm ほど水位が上昇していることになっています。20 時間後にはとても魚とりのできる水位になるとは考えられせんのでやむなく中止と決定しました。



●イタセンパラ生育池の調査実施

台風 2 号と 3 号の影響もありました。また梅雨前線の影響がありましたが、摂南大学の石田先生と学生さん 7 名で玉水浜のワンド A/B/C での生育調査を実行いただきました。水位がまだ低下しなかったのですがウナギの稚魚、ブラックバスの稚魚、などが捕獲されたとお聞きしました。水位が下がっていない悪条件の下でも屈強の若者だから実施できたものと思います。今年はワンドへの通路や周囲の除草に早くから取り組んで条件整備を進めていただきました。9 月にはワンドでの魚釣りを行って外来魚駆除を予定しています。京都水族館で増殖できればその二世を木津川のワンドに放流の可能性もありますので、対策として外来魚対策を行って、受け皿つくりになればと思っています。大阪の城北ワンドでは生育が思ったほどのものではないとお聞きします。木津川は淀川水系のうちで自然生育していたワンドがそのまま存在していますので、しっかり取組を継続してゆきたいと思っています。関心ある皆様のご協力を切にお願いいたします。



ていただきました。9 月にはワンドでの魚釣りを行って外来魚駆除を予定しています。京都水族館で増殖できればその二世を木津川のワンドに放流の可能性もありますので、対策として外来魚対策を行って、受け皿つくりになればと思っています。大阪の城北ワンドでは生育が思ったほどのものではないとお聞きします。木津川は淀川水系のうちで自然生育していたワンドがそのまま存在していますので、しっかり取組を継続してゆきたいと思っています。関心ある皆様のご協力を切にお願いいたします。

●フィランソロピー協会からのボランティア事業への返答

フィランソロピー協会から「ゆうちょの社内誌」にボランティア募集を行っているから案内文を送ってほしいとの事でしたので①里山農園活動＝毎週火曜日・土曜日の 9:30 から作業を行っているのをご参加を。また②木津川堤防での希少種の生育調査や除草作業を 9:30 から逐次行って

いるので、参加希望者は里山の会へ申し込んでほしいと要望を送っておきました。いずれも3日前には届け出をお願いしておきたいと案内しました。詳細などは週刊ニュースで公表しますのでご覧ください。また9月2日の講演会も計画していること、参加希望者は週刊ニュースで募集開始に注意を払って下さい、との連絡をしておきました。

●京都府地域交響プロジェクト交付金申請について

交付金申請に完全な賛成がいただけませんでした。以下の趣旨で申請を図りたいと思います。最終申請が6月末日とのことです。ご意見ご提案をお伝えいただければ有難いと思います。6月14日の事務局会でも提案したものです。参考にしてください。

『9月の講演会の講師料 5月のイタセンパラ生育調査へのマイクロバス代金などの交付金を計算しました。京都府で審査の結果合格すれば交付金がいただけることになります。この交付金制度は京都府から1/3、そして1/3が自治振興会からの交付金で、自己資金が1/3となっている制度で、審査が通れば非常に有利な制度です。里山の会は、ハンマーモアや印刷機輪転機などの諸機械をこの交付金を使って備品を整えてきました。近頃は備品購入については不可能となってきています。しかし財政力の弱い団体には1/3の資金を用意すれば希望する取り組みが可能になりますのでよかったと思います。申請書類を整えることや実績報告書などの書類作成が苦労なのですが、申請書の作成時に十分検討しておけば、里山の会の活動量からすれば実績は豊富ですから、記録を正確にして写真を必ず撮影しておけば、どんなでも報告書作成は可能です。』どんなに考えても審査さえ通れば、貴重な財源確保になります。

●竹サインペンに課題

竹サインペンの取組は、最も課題の竹割機と竹の先の研磨機にめど（不十分で改良の余地がある）がつき、形を整えるところまで来ました。次の課題は芯を差し込む穴あけ工具の用意のところまでの到達にきました。中心になって進めていただいた木下様は奥さんの応援で見栄えのいいものを考えようと、色紙でサインペンの紙袋を考案していただきました。まだまだこうした工夫が必要です。ご提案をお願いいたします。木下様は17日のホテルの集いの参加者の方々の受け止め方について



ご意見を伺えられたらと、ささやかなお土産にご用意をしていただいています。

●螢の集いと里山音楽会

14日現在のところ10人程度の余裕がありますのでこぞってご参加ください。お待ちしております。三線バンドのキジムーの皆さんは切っていますとのことです。カチャーシーを踊りましょう。

参加者募集

螢のタベと里山音楽会

今年も螢の季節がやってきました。田植えに忙しい時期ですがほっと一息昔からある大自然に目を向けてみませんか？ どんどん変わっていく世の中で変わらない大切なものの、意識して見に行かないと見れなくなった大切なもの、なくなってほしくない大切なものを守り続けたいやましろ里山の会です。皆さんと大自然に触れ、奇麗な螢を見ながら素敵なひと時を過ごせたらと思います。螢は今年も見れるかな？ 今年は螢に加えて、元祖火起こし器を作ってみたいと思います。原始時代にタイムスリップ？ 便利な世の中にもそんな時間必要ではないでしょうか。

6月17日（土）

16時開始 20時半解散予定
少雨決行ですが開会前に激しい降雨の場合は中止

会場 里山農園 京田辺市普賢寺水取菰谷（普賢寺小学校前 15時30分）

募集人数 10組 [メールで申込 fddb257eybb.ne.jp](mailto:fddb257eybb.ne.jp) 住所 氏名 年齢 携帯番号
先着順で受け付けます 受付開始は6月10からです
必須条件 保護者同伴の事

持ち物や服装 懐中電灯 出来るだけ長靴がいい 長袖の上着 長スボン 軍手 帽子
手ぬぐい うちわ 夜のごはん 水筒 帽子 防虫対策

プログラム

16:00 開会挨拶 注意事項伝達
17:00 火起こし機作り
19:00 三線演奏 里山音楽会
19:30 螢クイズ
20:00 ホテル観察
20:30 解散



沖縄・三線バンド「キジムー」が出演

代表・木下勉 ほか6人
障がい者施設など数多く友情出演



特定非営利活動法人 やましろ里山の会
住所 京田辺市田辺深田 15 0774-64-4183